

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地						
放送芸術学院専門 学校	平成23年12月28日	澤田 隆治	〒530-0042 大阪市北区天満橋1-5-9 (電話) 06-6242-5050						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地						
学校法人コミュニ ケーションアート	昭和63年4月1日	理事長 近藤 雅 臣	〒550-0013 大阪市西区新町1-8-22 (電話) 06-6536-7161						
目的	本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、文化・教養専門課程を設置し、そのもとで放送・音楽・ 芸能などエンターテインメント業界に従事しようとするものに、必要な知識、技能及び人間力を身に付け、 社会に貢献できる人材を育成する。								
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士					
文化・教養	専門課程	タレント科(昼間Ⅱ部)	平成26年文部科学 省告示第6号	—					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必 要な総授業時数又 は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼間	1800	0	3420	0	0	0		
単位時間									
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数					
80 人	58 人	1 人	3 人	4 人					
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、出席状況にて評価を実施					
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏 季:7月21日～8月31日 ■冬 季:12月23日～1月7日 ■学 年 末:3月14日～3月31日		卒業・進級 条件	出席率と試験点数により、進級、卒業に 必要な単位を取得している。					
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談、保護者面談、三者面 談		課外活動	■課外活動の種類 同好会・サークル活動 ■サークル活動: 有					
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 放送、制作会社、芸能プロダク ションなど ■就職率 ^{※1} : 98 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 89.7 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に關する 平成28年8月31日 時点の情報)		主な資格・ 検定等	JPPA映像音響処理技術者資格認定試 験、色彩検定、秘書検定、					
中途退学 の現状	■中途退学者 5 名 ■中退率 8.9 % 平成27年4月1日 在学者 56 名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 51 名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、学校生活不適應、病気、経済的理由、進路変更 ■中退防止のための取組 個人面談、学費相談(分割納入や延期納入)、保護者面談、三者面談、補修、課題提出								
ホームページ	URL: http://www.oas.ac.jp								

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

エンターテインメント業界において、人に感動や喜びを与えられることの出来るクリエイターとして即戦力を身に着けるよう、職業人教育を実施していくために、業界が必要とする人材を業界と共に育成する、産学協同教育システムという考えのもと、企業と連携した授業を実践している。

また、講師会などにおいて、業界、団体の方の意見や動向、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方

法の改善、工夫等を行っていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
谷 弘	協同組合 日本映像事業協会
堀内 俊	株式会社 トラッシュ
中西 正人	株式会社 キレイ
宮下 耕治	株式会社 セイ
竹田 昌広	有限会社 プランニングRYU
澤田 隆治	放送芸術学院専門学校
中川 喜広	放送芸術学院専門学校
山本 哲史	放送芸術学院専門学校
堀 亮平	放送芸術学院専門学校
立川 美絵	放送芸術学院専門学校

(開催日時)

第1回 平成28年9月16日 18:00～19:30

第2回 平成29年2月4日 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する(産学協同教育)という考えのもと、業界の方から直接、学生が目指す職種に必要な知識・技術を指導

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
演技基礎	基礎を学び、テーマに応じた作品を創り、舞台上で発表することを目的とします。	有限会社プランニングRYU
オーディション対策講座	メイク・スタイリストに関する基礎を学び、セルフマネジメント力を習得します。	株式会社PIF
表現基礎	即戦力として活躍できるタレントを育成すべくプロとしてのクオリティを目指すほか、裏方スタッフとの連携や挨拶・マナーを学ぶ。	有限会社オフィス自由本舗

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・授業技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。平成25年度においては、中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを実施することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の2つの要素が年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行う。

① キャリア教育の視点②ひとり一人を見ていく視点

さらに専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
隅谷 啓太	フリーミュージシャン
宮井 陽子	保護者様
久徳 健三	大阪市北区堀川連合振興町会
易 寿也	大阪府立富田林高校 前学校長
堀内 俊	株式会社 トラッシュ
中西 正人	株式会社 キレイ
宮下 耕治	株式会社 セイ
竹田 昌広	有限会社 プランニングRYU

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.oas.ac.jp](http://www.oas.ac.jp)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.oas.ac.jp](http://www.oas.ac.jp)

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程タレント科昼間Ⅰ部・Ⅱ部) 平成26年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話	国際教育として英会話を取得し、インターナショナルな業界人を目指す。	1通	60	4		○		○			○	
○			コンピュータ	基礎的なコンピュータ操作を学び、セルフマネジメントができる社会人としてのスキルを身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナースキルを養い、プロの現場に活かします。	1通	60	4		○		○			○	
○			コミュニケーション技法	自分の意思を正確に伝え、相互理解に至るコミュニケーションスキルを身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			滑舌・アクセント	正しい日本語・発声方法・アクセントを学び、自分の声・言葉をしっかり出せるように訓練します。	1通	60	4		○		○			○	
○			ナレーション基礎	CM・テレビ・映像作品ナレーションなどさまざまな演出を要求されるナレーションは「読み表現」の基本。伝達能力を高めます。	2通	60	4		○		○			○	
○			演技基礎	基礎を学び、テーマに応じた作品を創り、舞台上で発表することを目的とします。	1通 2通	120	8		○		○			○	○
○			表現基礎	即戦力として活躍できるタレントを育成すべくプロとしてのクオリティを目指すほか、裏方スタッフとの連携や挨拶・マナーを学ぶ。	1通 2通	120	8		○		○			○	○
○			演劇・映像史	演劇・映像の歴史を知り、文学をとおして芸能の知識を学びます。	1通	60	4		○		○			○	
	○		ヴォイストレーニング	歌うための筋力を高めるエクササイズやブルートレーニング、リズムトレーニングを学びます。	1通 2通	120	8		○		○			○	
	○		パフォーマンス・ベーシック	ステージに立つ表現者としての立ち振る舞いや動きを学びます。	1通 2通	120	8		○		○			○	

	○		映像基礎	映像上で演じるために必要な演技力を養います。舞台と映像の違いも知り、演じ分けられる力を身に付けます。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		メイクアップ・ベーシック	全米ブライダルコンサルタント（ABC）協会認定のブライダルプランナー検定試験の対策授業を中心に実践的な授業を行います。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		表現演習	演技の基礎技術の習得。メソッドを取り入れた表現力を身に付けます。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		演技演習	テーマに応じた作品を創り、舞台上で発表することを目的とします。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		ステージ・パフォーマンス	ユニットによるステージでの表現力を養います。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		アテレコ・アフレコ	アニメーションや外画（洋画）素材に声をあて録音することを通じ、幅広いジャンルの素材に対応できるような声優に育成します。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		ヴォーカル・レッスン	リズム取りの基本、振り付け等、ヴォーカリストに必要なパフォーマンス力を養います。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		作詞＆作曲・編曲	作詞・作曲の基本を学び、作品を仕上げていきます。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		メイク&スタイリング	メイク・スタイリストに関する基礎知識全般とリリースの仕方、現場での動きを習得します。	1 通 2 通	120	8		○	○					○
	○		アクティング演習	映像上で演じるために必要な演技力を養います。演劇制作では、台本選びから開場選りまで自分たちで公演をできる力を養います。	2 通	180	12		○	○					○
	○		ダンスパフォーマンス演習	ストリートダンスのテクニックを駆使し、オーディションやコンテスト、バトルイベントに向けた振付や選曲など、様々な作品を創り上げます	2 通	180	12		○	○					○
	○		DJ & アナウンス演習	ラジセフド・ソフトウェアーに力を入れ、アナウンスの基礎力を身に付けます。また、音楽の歴史から音楽業界の基礎知識、そしてラジオ番組の企画・構成力を身に付けます	2 通	180	12		○	○					○
	○		お笑い芸人演習	バラエティ番組の基礎を学び、バラエティ番組におけるタレントの立ち位置を学びます。	2 通	180	12		○	○					○
	○		ミュージシャン演習	楽曲の歌詞を伝え、自分なりに表現していけるよう、ステージでの表現力を養います。	2 通	180	12		○	○					○

○		メイク&スタイリスト演習	メイクアップアーティストやスタイリストとしての総合力を身に付けます。	2通	180	12		○		○			○	
○		オーディション対策講座	メイク・スタイリストに関する基礎を学び、セルフマネジメント力を習得します。	2通	60	4		○		○			○	○
○		イベント制作	台本選びから、会場選びまで自分たちで公演をできる力を養います。	2通	60	4		○		○			○	
○		進級制作	1年間の集大成として学んだ力を発揮し、作品を作り上げ発表します。	1通	120	8		○		○	○		○	
○		卒業制作	2年間の集大成として学んだ力を発揮し、作品を作り上げ発表します。	2通	120	8		○		○	○		○	
合計			30科目	3,420単位時間(228単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
2年間で114単位（1,800時間）以上を修得した者で、卒業認定された者		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。